

NPO 法人

2014/ 6/20

虹の会ニュース

第 45 号

編集発行	特定非営利活動法人「虹の会」
T E L	04-7179-3133
F A X	04-7179-3130
住 所	〒270-1114 千葉県我孫子市新木野 3-32-15 宅老所「虹の家」内
郵便振替口座	00180-0-592018

第 12 回 通常総会のご報告

理事長 高井 睦美

5月25日13時より、虹の家にて総会を行いました。正会員68名中53名の出席（内、本人出席27名、委任状26名）で盛り沢山の議案は満場一致で承認されました。前理事長・高井浩幸氏より、健康上の理由で退任の意向が示され、当日の互選理事会において、高井睦美が虹の家施設長と兼務する形で就任いたしました。理事会・職員・会員の皆様のより一層のご支援をよろしくお願いいたします。今年度は新規事業として①虹の家のスプリンクラー工事、②サテライト事業所の開設及びつどいの家への協力、③公開講座の実施、などがあります。①については、国へ補助金を申請し下半期に実施予定です。③は6,7月と10,11月の2期に分けて開講します。参加者の皆さんに「老い」に関してさまざまな問題の中から、一つのテーマを選びフリートーキングで共に考えて行きたいと思えます。②については詳細を裏面に掲載しました。ご覧ください。

退任のご挨拶

高井 浩幸

ゆっくり、一緒に、笑顔で、楽しく、年齢や障害に囚われることなく、住み慣れた地域での生活を、施設主義でなく在宅生活を、障害区分での支援でなく本人の選択による支援を、大きいことよりは小さいことを、などとキャッチフレーズに酔いながら、小さいながら地域の皆様のご協力を得て障害者、高齢者福祉の一翼を担ってこれたことをここに感謝申し上げます。

在宅福祉を担う時に直面したのは「看取り」の問題でした。医療、ご家族、職員相互の意思疎通や意思統一など、地域との連携が必要になっています。

虹の会の今後の発展のため、代表理事をここに交代することとなりました。これまでの皆様のご協力にお礼申し上げます。今後とも虹の会へのご協力をお願い申し上げます。

虹の家 春 特集



春の小旅行。

今年のはあけぼの山公園で鮮やかなチューリップを見物した後、回転寿司のお店へ。なかには一日じゅう大はしゃぎの人もいました。



みんなで調理の日。
久しぶりに、腕を振るうよ！



みんなで作ったアジサイ壁画を前に、
はい、ポーズ！

サテライト事業と地域のつどいの家について

高井 睦美

▲ 昨年の虹の家十周年記念行事「みんなで語ろう！いつまでも自宅に住みたいね」では、地域の皆さんや地元の大学生など100名余りの方々に参加していただきワールドカフェを開きました。

「人との交流の大切さ」「気軽に立ち寄れるお休み処がほしい」「自分から心を開こう」「やりたいことが見えてきた」など貴重な意見が沢山出ました。

▲ これを受けて、今春の新木野高齢者見守りネットワーク・協力員連絡会では「閉じこもりを防止するには」をテーマに二回目のワールドカフェを開きました。「特に男性の閉じこもりを何とかしなくちゃ」「人と人とのつながりには挨拶が大切」「空き店舗を活用してお休み処ができないだろうか」などの意見が出されました。

▲ ところで、虹の会では地域交流室（たまりんば虹）として虹の家の一部を開放しており、年間延べ180名の方々が裁縫などの手作業をしながらおしゃべりをしています。中には、介護認定を受けて虹の家へ利用登録される方もいらっしゃるようですが、それらの方の

顔つきが、虹の家にいる時よりも、イキイキとしているのです。「虹の家では一方的にサービスを受ける身分だが、たまりんば虹では自ら主体的に行動できる」との思いが、表情の違いに現れるのではないかと、私は考えています。

▲ 厚労省・社会保障審議会の議論でも、介護予防の推進のため、多様な通いの場を創出することが謳われています。折よく、虹の会においても経営の安定を図る必要性から、出張所（サテライト事業所）を開設し、事業規模の拡大を検討していたところでした。

▲ これら諸々の状況の中から、私どものサテライト事業と地域のお休み処（「つどいの家」と改称）を隣接して設置できたら……というアイデアが生まれました。好条件の空店舗も見つかりました。現在は、理事会や地域の各団体への働きかけ、事業所開設認可や補助その他の件で市との交渉が始まっています。

▲ 次号のニュースでより具体的な計画が提示できるのではないかと考えています。

新入職員紹介

菅原紀子さん（介護職員）

新木野生まれ、新木野在住
（本人より）現在41歳ですが、その大半は新木野で暮らしてきました。ご利用者さんの生活の一部をお手伝いしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

伏島信子さん（事務職員）

東京生まれ、湖北台在住
（施設長の声）
会計の処理をやっていた前理事長から業務を引き継いでもらいました。パソコン堪能な方なので、事務体制も一安心です。

牧野仁さん（事務長）

静岡生まれ、新木野在住
（施設長の声）
定年後ゆっくりしようと思っていたようですが、週2日、勤務に駆り出しました。介護バカの施設長を助けてください。

